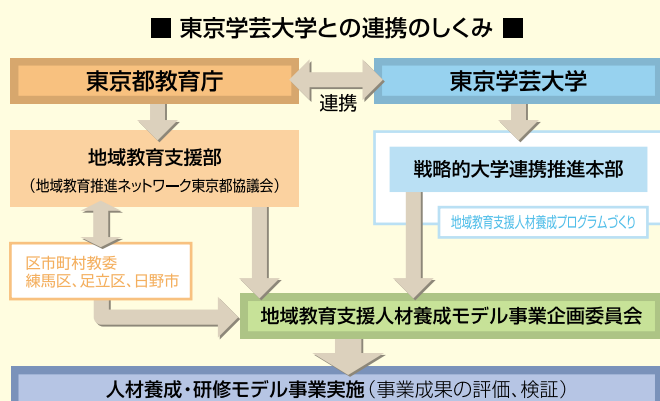


地域の教育力向上のために、

# 東京学芸大学と連携事業を始めます！

平成21年度から、東京都教育委員会は東京学芸大学と連携し、「大学と連携した『地域教育支援人材の養成』に関する研究開発事業」に取り組みます。この事業は、各区市町村において実施されている「放課後子供教室」をはじめとした学校外教育事業に、支援者として参画する地域住民の養成と資質向上等に対応するための方策等の研究開発を目的としています。これは、東京学芸大学の取組である「東京学芸大学こども未来プロジェクト」と「6大学連携教育支援人材育成事業」と連携して実施するものです。

平成21年度は、練馬区、足立区、日野市の各教育委員会にご協力いただき、モデル事業を実施する予定です。



※地域教育推進ネットワーク東京都協議会についてはP5を参照してください。

## 東京学芸大学こども未来プロジェクトとは

東京学芸大こども未来プロジェクトは、東京学芸大学と趣旨に賛同した株式会社おもちゃ王国が、様々な「子供の遊びと子育て」に関するニーズに応えるために、研究開発と事業の展開を目的として設立された、全国でも初めての教員養成系学部における産学共同研究のための組織です。

子供時代に「子供」らしく「子供」を堪能することが、人間の発達にとって重要な意味を持ちます。そのためには、大人の関わりが欠かせません。本プロジェクトでは、大学の研究者や学生が生み出す「知」と企業のもつ「展開力」を結集し、子供の子供期を支える、地域に根ざす多様な教育支援人材の育成と活用を目指しています。

人材育成では以下の講座を実施しております。

- 子供の放課後サポーターを始めたい方に向けたコース講座…子供に接する時の知識やコツなどを講義形式、実際に子供と関わる実習形式で学ぶコース。
- 学校支援ボランティアコース講座…学校支援者(1.学習支援 2.学校環境支援)に興味のある方々へ向けた講座。
- 絵本読み聞かせコース講座…絵本の読み聞かせについての講義、実際に子供へ読み聞かせる実習。

6大学  
連携教育支援  
人材育成事業

文科省平成20年度「戦略的大学連携支援事業」

## 「キックオフ・シンポジウム」

東京学芸大学が中心となって、奈良教育大学、鳴門教育大学、東京成徳大学、白梅学園大学、中国学園大学の6大学が連携し、教育支援活動を行う人材の育成事業に取り組んでおり、関係者による「キックオフ・シンポジウム」が開催されました。

シンポジウムの基調講演では、元プロ野球選手で現在スポーツキャスターとして活躍する栗山英樹さんが、地域の野球場づくりの経験を紹介しました。球場づくりにおいて、例えば外野のフェンスを子供たちがぶつかっても痛くないようにトウモロコシやヒマワリの茎を並べて造るなど、人々がアイデアを出し合い、苦勞して完成させた様子が語られ、この取組みから人々の心が一つになった様子が伺えました。

続くパネルディスカッションでは、地域の教育支援コーディネーターや、大学教員、行政関係者を交え、「地域総がかりでの教育はどうして必要なのか。また、そのために地域の大人は、何を行えばよいのか」をテーマに議論しました。今の子



供たちの教育環境の課題として、親と教員以外の大人と関わる機会が少なくなっており、多様な大人モデルを示せないこと、子供たちが主体的に学ぶ場が少ないことなどが挙げられ、そうした状況を補うためにも、地域の様々な大人たちが教育支援活動に参加することの必要性について確認されました。また、こうした活動に参加する際には、学校現場のことをよく理解することが大切であることなどが意見されました。

さらに、地域の教育支援活動の課題として、新しいスタッフが必要となっていることや、人と人をつなげる力や学校のニーズと地域の社会資源をマッチングさせる力のある人材の養成などが挙げられ、6大学連携教育支援人材育成事業への期待が寄せられました。